

新ましこ未来計画外部検証委員会（暮らし分野）議事録

日時	平成 30 年 5 月 28 日(月) 19:00～20:40	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	市川委員、呉浦委員、村田委員（欠席：上野委員、高松委員）
	職員	櫻井民生部長、加藤総務課長、日下田企画課長、仁平環境課長、木村健康福祉課長、河原高齢者支援課、櫻井生涯学習課長
	事務局	吉永係長、深谷
配布資料	次第、推進シート、事前質問・回答一覧、新ましこ未来計画の一部改訂について 地方創生関連事業に関する実績検証資料	

発言者	発言要旨
事務局・健康福祉課長	1. 開会
	2. 出席者紹介
	3. 配布資料確認
	4. 案件
	(1) 地方創生関連事業に関する実績検証
	地方創生関連事業に関する実績検証資料により概要説明
	子ども子育て支援施設の駐車場には何台止められるのか。
	一般車 30 台と障がい者等用 1 台の予定である。
	土日オープンすることとなると思うが、職員の配置はどのようなになるか。
	開所時間について、土日は 9:30～17:00、平日は 9:30～20:00、閉館日は火曜日、祝日、年末年始。平日については、17:00 以降は自習スペースとして運用を予定している。職員については、幼稚園教諭免許の保有者 3 名採用し、シフト制で常時 2 名を配置する。17:00 以降はシルバー人材センターへ委託することとしている。
委員	シルバーの方が学習指導などは行うのか。
民生部長	自習スペースなのでその点は検討していない。
委員	誰でも使用することはできるのか。
健康福祉課長	制限は設けず、事業等を通じて多くの方が利用し、移住につながればとも考える。
委員	外スペースには遊具の設置予定はあるのか。

健康福祉課長	遊具はないが、ゴムチップを敷いたエリアをつくる。交通量も多い立地であるので、フェンスを設置する。
委員	福祉センターにあった遊具の撤去後、外に遊具があるといいという意見があった。可能なら検討いただきたい。
民生部長	本施設は雨の日等でも屋内で遊べる場の整備という観点であった。外遊びは北公園を利用していただければと考える。
委員	県道に面し、交通量が多い点についての対策は。
健康福祉課長	外構にフェンスを設置し安全に配慮する予定である。
委員	子どもだけ置いていけるような運営を予定しているのか。
健康福祉課長	就学前の子どもの利用が中心と見込んでいるが、小学校3年生までは保護者同伴としたい。子どもと一緒にいる時間が増えるように考えている。
民生部長	(2) 概要説明 総括シートにより説明 (3) 施策ごとの検証 OP. 21 施策1 選ばれるまちへの転換
委員	移住定住事業で空き家などのPRはどこに対して行っているのか。
企画課長	町のHP、外部の移住交流サイトなど、全国的に移住の情報が集まるところに掲載している。
委員	都内においての移住セミナーとあるが、どのくらいの規模のイベントか。
企画課長	全国規模で何百という自治体が出展する規模、会場は東京ビッグサイト、東京国際フォーラムのほか、栃木県との共同で有楽町交通会館内にあるふるさと回帰支援センターにおいて栃木県に興味のある方、また分野を分けて起業したい人や通勤したい方、農業したい方等に直接アプローチしている。
委員	お試し住宅運営とあるが、益子に住みたいと思うようになるために、益子在住のインテリアに詳しい方をお願いするのはいかがでしょうか。
企画課長	現状では町所有ではなく、町民の方から賃借している物件のため、リフォームが大

	胆にできない部分がある。
委員	町民活動支援センター開設に向けた進捗状況はいかがか。
企画課長	はっきり言うと進んでいない状況である。担当部署をどこに設定することが適切か、また子育て支援センターや図書館開設という動きがある中でどこに設置することが最適かという選択を総合的に検討する必要があるため時間を要しているのが現状である。
委員	引き続き検討していくと解してよいか。
企画課長	新未来計画に掲載されていることはやる、整備するということで了解願いたい。
委員	<u>OP.22 施策2 住み続けるまちへの飛躍</u> 縁結びITネットワークは解散したが、計画からは外れるという事でよいか。
事務局	次の案件で検討いただくこととなるが、具体的行動の変更を予定しており、詳しくは後ほど説明する。
委員	子育て支援ガイドブックはどのように活用されているのか。
健康福祉課長	コンパクトに妊娠から子育てまで一連のものが掲載されている。窓口でお配りして活用して頂いている。
委員	<u>OP.23 施策1 豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備</u> 小宅古墳群の菜の花と桜を見に行き、とても気持ちの良い空間だと思ったのだが、整備はボランティアが行っているのか。
生涯学習課長	地域に住んでいる方が整備を行っており、今年はゴザの貸出し、タケノコの販売等を行って好評を得ていた。町では、駐車場の砂利提供、看板・仮設トイレの設置を行った。
委員	タケノコについて、放射能の測定はされているという事でよいか。また、駐車場は町の土地なのか。
民生部長	まず、現在は原則原木しいたけと野生のきのこが出荷停止となっているが、その他の野菜は義務付けがなくなっており販売している。また、駐車場は亀岡八幡宮のものである。
委員	コスモス畑について、アスファルトの駐車場が有効のため次年度も検討とあるが、

	その後の見通しはいかがか。
生涯学習課長	県道工事に伴う未供用地（アスファルト部分）の駐車スペースの利用は今年も検討しているが、30年度は会場全体が29年度より南側に移ることになるため、駐車スペースからは遠くなってしまう。
委員	<u>OP.24 施策2 自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発</u> エネルギー自給率 25.9%と予想をかなり上回っているが、買取価格は下がっている中、太陽光発電の補助件数はどのようなようであるか。
環境課長	補助件数は年々減っている。これまでのエネルギー自給率はメガソーラーの貯金のようなもので、今後は差が縮まっていくと見込んでいる。
委員	個人宅では反射がまぶしいという近隣から苦情があることもあるが、町へはそういった苦情はないか。
環境課長	特に町へは寄せられていない。
委員	枯葉等収集事業のその後の展開はいかがか。
環境課長	29年度は試行期間であったが、終了することとした。理由は、袋の年間需要2,000枚に対し、最低1万枚からの受注条件となる点、自然分解する素材であるため長期保存に向かない点があり、制度は好評であったが、コスト的に終了を決定した。
委員	制度は素晴らしいものなので、袋が改善されればまたやっていただきたい。
委員	<u>OP.25 施策3 ごみの資源化・減量化の推進</u> 生ごみの肥料化に関する記事がホームページで紹介されていたが、その後生ごみの処理量は増加したか。記事内容は町民の方が工夫している内容であり、よくできているものだったので広報掲載などまたやってもよいのではと考える。
環境課長	無作為アンケートを実施し、その結果を基に紹介したもので、追跡調査的なことは行わなかったが、今後も周知・分析を行っていきたい。
委員	<u>OP.26 施策1 運動を通じた健康づくりの推進</u> 健幸ポイント申請者の年齢構成はいかがか。
健康福祉課長	現段階で詳細は把握していないが、中高年が多いかと感じている。
委員	スクールガードへのPRもしているとあるが、どのように行っているのか。

健康福祉課長	スクールガードは全くのボランティアだが、活動中は歩いているので、入会後に報告をしていただきポイントをためることができる。小学生の祖父母に訴えかけるために、一日入学時に資料配布、また各学校でも募集している。
委員	<u>○P.27 施策2 食事を通した健康づくりの推進</u> 腎臓病の予防教室について、受講人数が多く教室を増やしたと聞いてスタッフが丁寧ケアして頂いていると感じている。体組成計を活用している人数も増えているなど、健康意識が高まっていると感じる。
委員	今月の小中学校でビルマ汁、益子産の小麦粉を使用などの地産地消の取組は評価できる。あわせて健康レシピのメニューなどを給食で出せば小学校からさらに食育できると考える。
健康福祉課長	学校給食は地産地消ということで地元食材 30%使用を目標としているが、給食は2,000食を短時間でつくるので、健康レシピのアイデアは活かしたいが検討課題が多いと考える。
委員	<u>○P.28 施策1 高齢者のいきがいくりの推進と障がい者支援の充実</u> デマンドタクシーの利用が増加しているが、高齢者の免許証の返納はどのくらいか。
総務課長	28年度：17人、29年度：33人と年々増加している。
委員	デマンドタクシーの利便性の向上は進んだか。
企画課長	大きな前進はないが真岡市担当課との意見交換を行った。町民の方が望むことは日赤病院への乗り入れだが、真岡市では、真岡市の市内巡回バスが北真岡駅から新日赤病院に回ることを考えている。公共交通という点で、町としてはデマンドタクシーと真岡鐵道の連携という点も配慮しなければならないと考えている。直接日赤病院まで乗り入れとなると、車両、人件費ともに増加してしまうので、慎重に検討していきたい。
委員	高齢者は安い料金で便利に使用したいという事があり、デマンドタクシー、真岡鐵道、巡回バスと乗継だと大変ではある。また、高齢者の講師による暮らしに役立つ講座はどのような内容か。
生涯学習課長	俳句教室を昨年度から引き続き実施するとともに、調理、健康パン、お菓子作りなどを実施する。また、いきいき講座に登録する講師にも高齢者の方がいらっしゃるため、講師の方と相談しながら進めていく。

	○P.29 施策1 防犯・防災体制、交通安全対策の充実 意見等なし
企画課長	(4) 新ましこ未来計画の一部改定について 資料に基づき説明
健康福祉課長	農政課、健康福祉課、社会福祉協議会、商工会でも関連する婚活事業を実施していた経緯があり、町内で連携して婚活事業を行うため、6月に会議を予定している。
委員	資料内にある「婚活支援事業者」とは社会福祉協議会も指しているのか。
健康福祉課長	J Aなどでもあるため、そういった事業者を指している。6月12日に関係機関の方に集まっていただき、話し合いを持ちたいと考えているため、詳細はその先となる。
委員	(5) その他 育脳プログラムについて説明をお願いしたい。
健康福祉課長	保育園、認定こども園、小学校を通して配布して頂いたもの。プログラムと言ってもメソッド的なものではなく、脳の発達段階に応じた関わり方をまとめたもので抽象的、理念的な内容であるが、子ども子育て支援施設でも各種事業やお母さんの相談を受ける際の参考として活用していく予定である。
	5. 閉会

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成29年度 下半期)

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
1	21	企画課	①Facebookで空き家バンクの物件情報が随時投稿されているが、体験ツアーやお試し住宅の情報からのリンクでもよいのではないか。トップに空き家バンクが多くあるように感じてしまうので、町のイメージダウンにならないか不安である。 ②移住定住に関する情報をどこに積極的にに行っているのか。 ③実際に移住してきた人たちは何が決めてとなって移住したのか統計(アンケート等)はあるのか。	①について 役場企画課及び移住サポートセンター(道の駅ましこ内)での移住関連相談のおよそ8割は住まいに関する情報を求めるものであること、空き家物件登録開始(平成29年7月～)後の町公式ホームページ閲覧者の7人に1人は空き家物件を閲覧している現状がある。情報発信方法については、できるだけワンクリックで必要な情報を閲覧できることが望ましいと考えている。今後も、住まい情報のニーズに応えるためにも積極的に情報発信をしていきたい。 ②について これまでも事業毎にターゲットを定めて行ってきたが、広く浅くという点は否めなかった。このため、平成29年度に「移住・定住推進計画」を町民の方と検討・策定し、対象者(ターゲット)を明確化した。平成30年度からはターゲットに沿った事業を展開していく予定である。 第1ターゲット:近隣事業所に勤務する子育て世代 第2ターゲット:UJターン希望の若者 ③住まいづくり奨励金交付者へ実施したアンケートはあるため、別紙にてご確認願いたい。なお、転出・転入者へのアンケートを現在実施中であるので、集計でき次第公表する予定である。